

1 情勢報告

「津野山のユズが2回目の冬を前に防寒対策を始めました（11月26日～27日）。



講習会の風景

JA津野山ユズ部会では2年目の出荷を終え、次は苗木の防寒対策に取り組む時期となりました。

本年度の春に9800本の苗木の植え付けがあり、初めて植栽を行った人も多く、現地講習会を地区ごとに開催しました。7地区で71名が参加し、農協と農業振興センターが行った防寒処理の実演を見ながら、手順や処理程度等に関する活発な質疑応答が交わされ、冬の寒さの厳しい津野山地区での防寒対策の必要性と早期実施を確認し合いました。

今後農業振興センターでは、苗木の冬越しがしっかりできるよう、JAと連携し巡回等を行い防寒対策の徹底を進めます。

津野町産業祭農産物品評会の審査をしました。



29日の授賞式の様子

11月28日、津野町葉山運動公園体育館において津野町産業祭農産物品評会の審査が行われました。津野町、JA土佐くろしお、JA津野山、農業振興センターで構成する審査員計10名で、基幹品目であるミョウガや米ナスを始め、大根、カブなど計391点を対象に審査を行いました。その結果、高知県園芸連会長賞等計7賞と優秀賞など5種類の賞計32賞が選出されました。

また、津野町では県産業振興計画の地域アクションプラン「拠点ビジネスの推進」の中で直販所へのご入れに取り組んでおり、消費者ニーズを意識したミニハクサイやミニダイコンなどを直販所出荷者の意欲を感じさせる出品物もありました。

農業振興センターにおいては、基幹品目の安定生産と併せて、津野町直販所連絡会を通じた直販所活動を支援していきます。

集落営農等先進事例調査を実施しました（12月1日～2日）



集落営農事例調査

こうち型集落営農に取り組む芳生野百石営農生産組合は、島根県の「農事組合法人いなぎ」「大田市農業担い手支援センター」の事例調査を行いました。

組織活動の実践から課題として上がってきた、組織運営や労務管理等について学ぶことができました。

組合員からは、「自分たちも、頑張ればできると、自信をもらった」、「私たち女性が頑張らなあいかんがやねえ」といった感想がありました。

将来の事業展開に向け、直売所のマーケティングについても事例学習ができ、有意義な調査となりました。

今後も、農業振興センターは、関係機関と連携して、地域の資源（農地、労力、産直組織等）を活かした活動展開を支援していきます。

JA津野山ハナニラ研究会定例現地検討会が開催されました（12月18日）



現地検討会の様子

JA津野山ハナニラ研究会は、「ハナニラの倒伏防止対策技術（導入定着ほ）の効果の検討と厳寒期の栽培管理等について」を目的として、現地検討会を開催しました。

フラワーネットを利用した倒伏防止効果は高く、参加した研究会員からは、次年度は導入したいとの意見がありました。また、倒伏防止対策として研究会長から中刈りによる方法が参加者に伝授され、参加者は熱心にその方法を聞いていました。

当日は、ハウスに降雪があるほどの大雪の日であり、参加者が少なく、会員全員に倒伏防止技術の周知ができなかったため、今後の定例会や個別巡回指導等で倒伏防止技術の徹底を図ります。

集落営農組織を対象とした米ナス基礎講習会を行いました。



講習会の様子

12月15日、芳生野百石営農生産組合の米ナス栽培担当を含めた5名の生産者を対象に、米ナス栽培基礎講習会を行いました。

この講習会は、平成22年から当組合で米ナスの栽培を始めるにあたり、米ナス栽培担当の担い手に栽培技術を身につけてもらうため、21年11月からJA、振興センターが協力して行っています。

特に今回は、苗の注文の締め切りが控えていることから、米ナスの台木・穂木それぞれの性質について説明しました。講習会終了後、必要な苗の種類、本数を参加者の理解のもとに決定し、注文をすることが出来ました。

これからも生産者が行う作業について時期を追って体系的な講習会を行い、芳生野の協業型施設園芸を援助していきます。

2 今後の普及活動の動き

須崎農業振興センター農業改良普及課
(連絡先: 0889-42-3255)

時期	タイトル	内容	備考
12月21日	津野町地域担い手育成総合協議会	経営改善計画書等の検討	
12月21日	J A四万十生姜部会研修会	M B代替技術の推進等	
12月22日	大野見地区営農協議会高品質多収部会	活動実績の反省検討等	
12月22日	土佐くろしお連絡会	関係機関での情報共有	
12月24日	中土佐町担い手育成協議会臨時総会	経営改善計画書等の検討	
12月28日	営農みらい塾運営協議会	運営規定等の協議	
1月19日	J A津野山米ナス部会基礎講座	病害虫の生態と防除について	
1月中旬	J A土佐くろしお花き部会販売研修会	まとまりのある園芸産地育成事業におけるユリ、クジャクアスター生産農家にむけた販売に関する研修会	
1月下旬	集落営農の研修会	集落協定代表者・担い手支援協議会・関係機関等を対象に県外講師による事例紹介を通じ水田の維持管理についてきっかけづくりの場づくり	